

スマホの操作、振るだけでOK 徳島のIT企業が新技術

ITmedia 2012/2/6



スマートフォン(高機能携帯電話)を振るだけで操作ができる新技術を、IT企業「マイクロインテレクス」(徳島県小松島市、斉藤孝弘社長)が開発したことが2日分かった。特許を出願中で、実証実験を行い、ソフトの製品化を目指す。タッチパネルでの操作が苦手な高齢者や障害者にとって朗報で、スマホの普及に拍車をかけそうだ。

マイクロ社のソフトをスマホに導入すれば、本体の上下左右の動作などを認識する「加速度センサ」を応用して、振るだけの操作が実現する。具体的には、タッチパネルでカーソルを動かすなどの通常の基本操作を、カーソルを動かしたい方向にスマホを振るだけで可能になる。「Enter(確定)」は下方向にスマホを振ると実行する。

誤作動を防ぐために、動作の強弱や特徴などで「意図した動き」と「無意識の動き」を見分ける検知能力もあり、通常のボタン入力と同様に正確に認識されるという。

マイクロ社は、情報を効率良く届けるビジネスを軸に展開。「スマホをうまく使えない人も手に取りやすくなる」(斉藤社長)ように新技術を開発した。

スマホの操作としては、音声アシスタント機能「Siri(シリ)」があるが、公共の場でスマホに話しかけるのは抵抗があるという声もある。ITジャーナリストの大河原克行氏は「世界中の人が使用できるバリアフリー操作は広がっていくだろう」と指摘している。